

会議録要旨

(1) 会議の名称	令和4年度 第2回越前市行財政構造改革推進委員会
(2) 開催日時	令和5年2月2日(木) 午前10時00分から11時45分まで
(3) 開催場所	越前市役所 3階 大会議室
(4) 出席委員氏名	稲継裕昭委員長、竹内直人委員、赤井陽介委員、田中恵美委員、谷口真紀子委員
(5) 出席所管課職員職氏名	越前市長 山田賢一、企画部長 西野吉幸、総務部長 西野孝信、企画部理事 諸山陽一、財政課長 橋本尚子、財産管理課長 川邊俊博、人事・法制課長 高橋透、政策推進課ブランド戦略室長 山口雅弘、情報政策課長 神門弘明、企画部政策幹 山口あけみ、総務部政策幹 武藤加代子、市民福祉部政策幹 土井朋美、産業環境部政策幹 奥山昭博、建設部政策幹 須磨亮介、教育委員会事務局政策幹 川崎敦子、政策推進課副課長 兵信一郎、政策推進課主幹 辻川千智
(6) 会議議題	<p>【協議事項】</p> <p>(1) 越前市行財政構造改革プログラムV実行計画 令和4年度上半期進捗時状況報告について</p> <p>(2) 今年度の取組内容について</p> <p>(3) 計画策定について</p> <p>(4) その他(指定管理者の選定手続き等の見直しについて)</p>
(7) 傍聴者の数	1人
(8) 会議資料の名称	<p>(1) 越前市行財政構造改革プログラムV実行計画 令和4年度上半期進捗状況報告について・・・・・・・・・・資料1</p> <p>(2) 今年度の取組内容について・・・・・・・・・・資料2</p> <p>(3) 計画策定について・・・・・・・・・・資料3</p> <p>(4) その他(指定管理者の選定手続き等の見直しについて)・・・・・・・・資料4</p>
(9) 会議の内容の要旨	<p>資料に基づき事務局から報告・提案を行い、委員から質問・意見・提言を頂いた。主な意見は、次のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政の構造全体が分かりにくい、ホームページ掲載の「市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)」の表で説明してもらえると分かりやすい。公共施設管理計画などは、財政のデータを踏まえて説明してほしい。 ・今回の西校区こども園が公立となったことについて、配慮が必要な子どもに対し、民間では取組みが困難な状況でも行政として対応してきた公立の役割は理解できた。今後の在り方として、官民双方がサービスを競いながらも、相談事案に関しては、最後のセーフティネットとして行政が責任を受けるということは頼もしい限りであり、今後も市政全般にしっかりとした官民連携を望む。 ・各実行計画の取組内容は分かるが、個別事業の進捗状況が全体の目標に対して適正かどうか分かりづらい。次回計画では構造的な仕立てを。 ・新計画については、総合計画との関係の問題がある。総合計画を頑張って作ったが財政と切り離されていて、絵に描いた餅になっていくのがよくあるパターン。スパンの長い総合計画の財源をすべて用意するのは難しく、現実的でないが、新計画

の方向性の中に、「総合計画の主要な事業を推進するための財源の確保」といった考え方を入れ、総合計画と行革の計画とリンクができれば、両方がよくなる。

・新計画の方向性の中にある、「市民本位のサービス改革にチャレンジする職員の育成、風土づくり」が重要と考える。経営理念・企業理念を大事にして経営している会社はいい会社であり、社長・会社の考えが社員全員に浸透していて、同じベクトルに向くということが大事。職員が、市民のためにという意識を持って仕事すること、どのようにその意識を共有させていくかが重要。

・職員の育成について、職員全員が市を愛し、市のことを発信できるような人材になることが、文化を変え行財政構造も変えるということになる。たくさんの方が来てお金を落としてくれれば経済循環になるので、新計画に入れるべき。